

市民公開講座 & 顕微鏡体験ワークショップ

事前
申込制

参加費
無料

会期

2025年6月8日(日)

会場

福岡国際会議場

主催:公益社団法人日本顕微鏡学会 後援:福岡市教育委員会

1. 市民公開講座

日時:2025年6月8日(日)13:00~14:30

講演 1

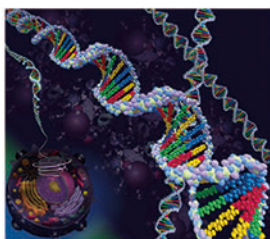
ゲノムで読む 日本人の成り立ち



篠田 謙一 先生

独立行政法人
国立科学博物館 館長

私たちのDNAには、集団の歴史が刻まれており、それを分析することで、祖先たちの由来に関する情報を知ることができます。特に今世紀になって古代人のゲノム解析が可能になったことで、私たち人類の歴史について、詳細なシナリオが描かれるようになりました。日本でもこの手法を用いて、縄文人や弥生人のゲノム解析が進んだ結果、日本人の起源についても新たな事実が明らかになっています。本講演では、近年の解析の結果明らかになった日本人の成り立ちについてお話します。



DNAの概念図



初めて全ゲノムが解析された船泊縄文人



ゲノム情報をもとに復元された船泊縄文人

講演 2

顕微鏡が魅せる 恐竜の世界



真鍋 真 先生

独立行政法人国立科学博物館 名誉研究員、
群馬県立自然史博物館 特別館長

©刑部友康

恐竜はその大きさが魅力のひとつですが、その一部は体を小さくして、羽毛と翼を生やして、空を飛ぶようになりました。それが現代の鳥類です。恐竜の骨の化石の形と大きさから、分類、進化、絶滅などの研究が行われてきましたが、この30年間、骨化石の微細構造に注目した研究によって、恐竜の年齢や、成長、雌雄など、恐竜の生物としての側面への手がかりが得られるようになりました。大きな恐竜化石を顕微鏡を使って研究することは、個々の化石から恐竜の全身はもちろん、その生態系へと私たちの眼差しを導いてくれます。



ティラノサウルスとトリケラトプス



デイノニクス



シンバチ

お問合せ

日本顕微鏡学会第81回学術講演会 運営事務局 株式会社西日本企画サービス 事業部

〒839-0809 福岡県久留米市東合川3丁目10-36

TEL:0942-44-5800 E-mail:jsm81@nksnet.co.jp

第81回学術講演会ホームページ <https://conference.wdc-jp.com/microscopy/conf2025/>

※参加申込は学術講演会のホームページから承ります。(申込開始は2025年4月以降の予定です)

